

WEBサイト上でのご回答

ご回答用WEBサイトはこちら

<https://www.mlit.site>



ご回答用WEBサイトのURL送付用
メールアドレスはこちら

web@mlit.site

※ 上記アドレスに空メールを送信いただき、返信メールに記載のURLにアクセスしてください。

メール送付によるご回答

【Excelファイルの取得】

ドライバン等用Excelファイルの
取得用メールアドレスはこちら

van@mlit.site

※ 上記アドレスに空メールを送信いただき、返信メールに記載のURLにアクセスしてください。

特殊車両用Excelファイルの
取得用メールアドレスはこちら

spc@mlit.site

※ 上記アドレスに空メールを送信いただき、返信メールに記載のURLにアクセスしてください。

※ 特殊車両：冷蔵車・冷凍車、ダンプ車、タンク車、バルク車、コンテナ輸送車、コンクリートミキサー車、
トラック搭載型クレーン車、霊柩車、一般廃棄物輸送車（塵芥車、衛生車、平ボディ等）、車積載車（キャリア
カー）、重量物輸送車

【ご提出】

Excelファイルの
ご提出用メールアドレスはこちら

submit@mlit.site

※ 上記アドレスにExcelファイル及び事業実績報告書、事業報告書を添付し送付してください。

動画解説はこちら

<https://www.mlit.site/ask>



Q&A集はこちら

<https://www.mlit.site/faq>



ご質問、お問い合わせ用の
メールアドレスはこちら

ask@mlit.site

トラック運送事業
適正原価調査
複数営業所の事業者向け
記載要領

目次

- 1. 営業所の選定について・・・1
- 2. 車両の選定について・・・2
- 3. 調査票の概要について・・・3
- 4. 調査票のご提出方法のご案内・・・5

WEBサイト上でのご回答方法

メール送付によるご回答方法

- 5. ご提出をお願いする書類について・・・9
- 6. 調査に関するお問い合わせについて・・・10

よくあるご質問について

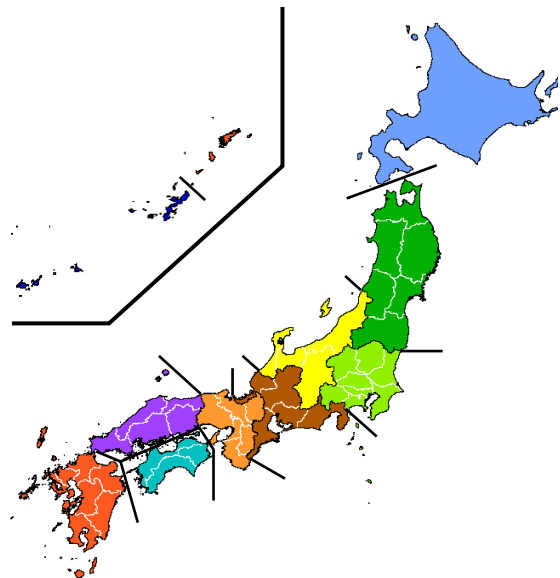
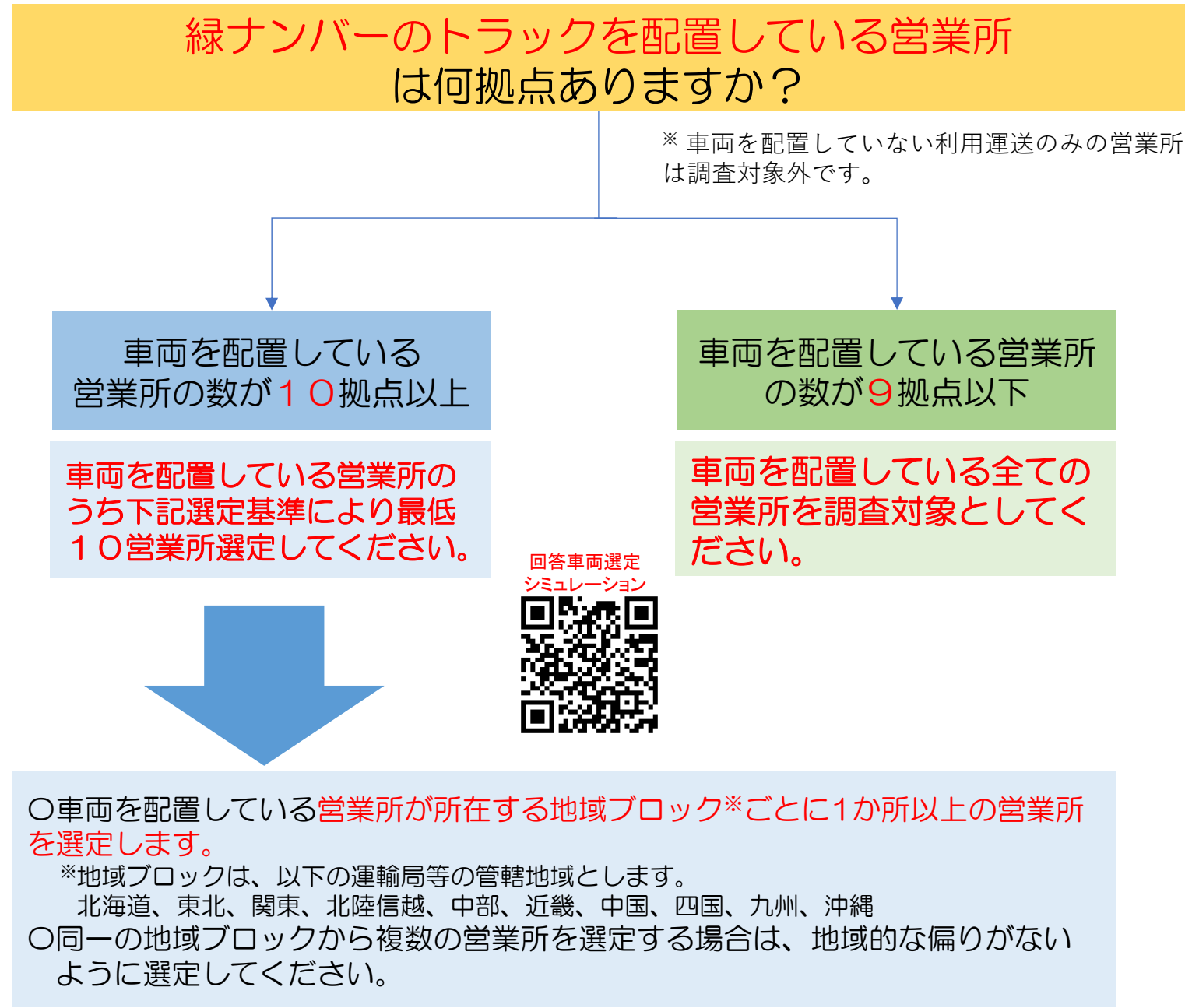
個別のお問い合わせについて

- 7. 回答のポイント（記載要領）・・・11

調査のご回答期限：令和8年2月20日（金）まで

1. 営業所の選定について

○下記フローチャートにより回答対象とする車両を配置している営業所を選定します。



- (例1) 100営業所あり、上記10地域ブロックにそれぞれ所在する場合、各ブロックから各1営業所を選定
- (例2) 12営業所のうち、関東に3営業所、中部に4営業所、近畿に5営業所所在する場合、関東から3営業所、中部から3営業所、近畿から4営業所を選定
- (例3) 11営業所あり、関東にすべて所在する場合、関東から地域的な偏りがないように10営業所を選定

2. 車両の選定について

○この調査での車両の定義は以下の通りです。
各車型の詳しい説明については下記サイトをご参照ください
<https://jta.or.jp/ippan/hayawakari/2-shurui-page1.html>



ドライバン等

- 単独車両（単車）
 - ・形状がバンボディ、ウィングボディ、平ボディ、幌ウィングである車両。
- 牽引車・被牽引車
 - ・バン型（常温）の被牽引車と、それを牽引する牽引車

特殊車両（牽引・被牽引を問わない）

- ・冷蔵車・冷凍車、ダンプ車、タンク車、バルク車、コンテナ輸送車、コンクリートミキサー車、トラック搭載型クレーン車、霊柩車、一般廃棄物輸送車（塵芥車、衛生車等）、車積載車（キャリアカー）、重量物輸送車

その他車型

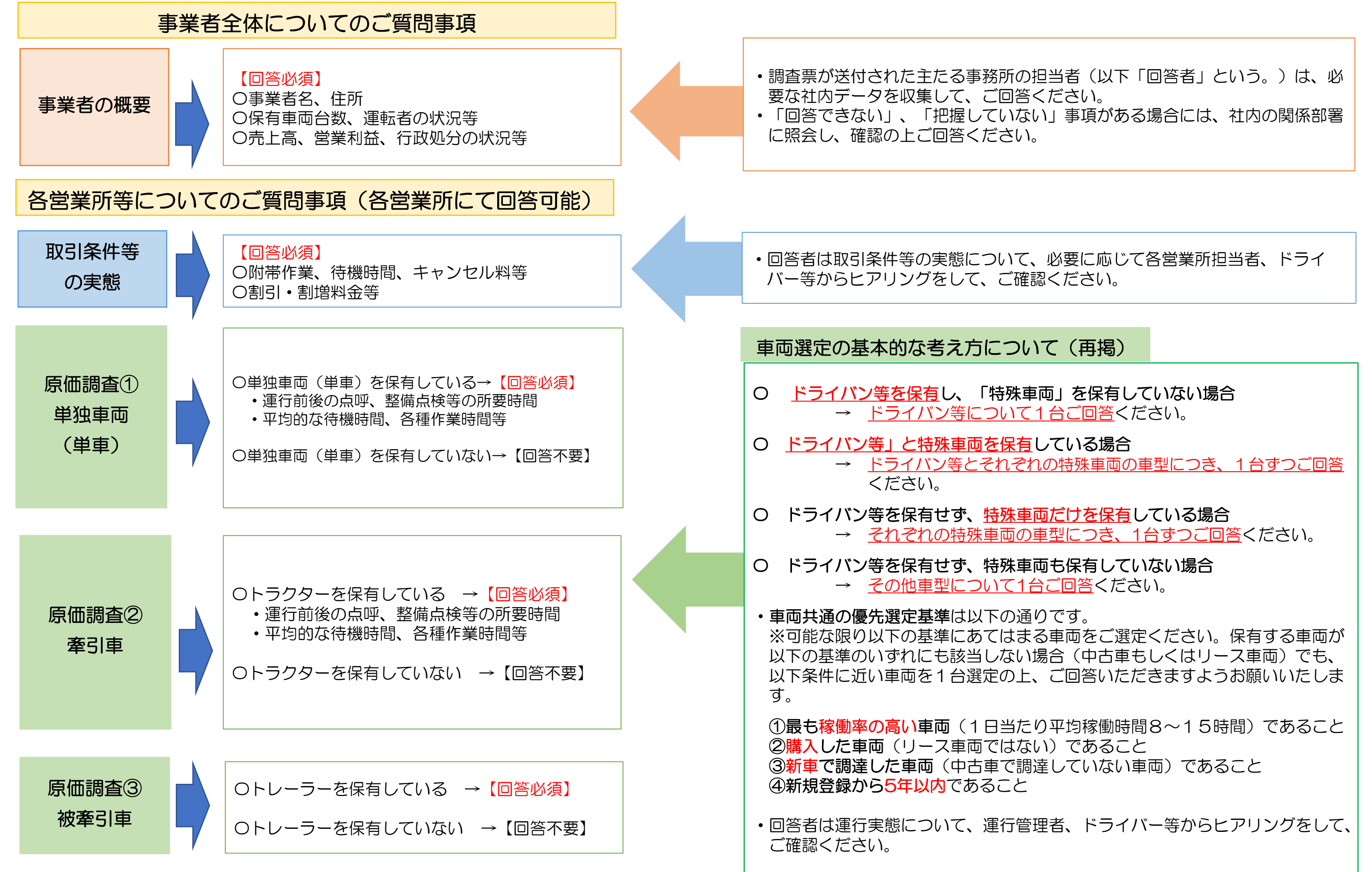
- ・上記の「ドライバン等」及び「特殊車両」のいずれにも当てはまらない車両。

○選定した各営業所ごとに調査対象となる車両を選定します。

- ドライバン等を保有し、「特殊車両」を保有していない場合
 - ドライバン等について1台ご回答ください。
- ドライバン等と特殊車両を保有している場合
 - ドライバン等とそれぞれの特殊車両の車型につき、1台ずつご回答ください。
- ドライバン等を保有せず、特殊車両だけを保有している場合
 - それぞれの特殊車両の車型につき、1台ずつご回答ください。
- ドライバン等を保有せず、特殊車両も保有していない場合
 - その他車型について1台ご回答ください。

- ・車両共通の優先選定基準は以下の通りです。
※可能な限り以下の基準にあてはまる車両をご選定ください。保有する車両が以下の基準のいずれにも該当しない場合（中古車もしくはリース車両）でも、以下条件に近い車両を1台選定の上、ご回答いただきますようお願いいたします。
 - ①最も稼働率の高い車両（1日当たり平均稼働時間8～15時間）であること
 - ②購入した車両（リース車両ではない）であること
 - ③新車で調達した車両（中古車で調達していない車両）であること
 - ④新規登録から5年以内であること

3. 調査票の概要について



4. 調査票のご提出方法のご案内

調査票ご回答期限：令和8年2月20日（金）まで

WEBサイト上での入力、またはExcelファイルのメール送付により、ご提出をお願いいたします。

WEBサイト上でのご提出方法

書面が送付された主たる事務所で回答する場合

ご回答に必要な
情報を収集

- 同封の書面調査票をご参照の上、ご回答に必要な情報を、各営業所等にヒアリングし、収集してください。
- ※ 質問番号1番～16番は、主たる事務所向け、質問番号17番～92番は、各営業所向けのご質問事項となっております。



ご回答用WEB
サイトにアクセス

- WEBサイトへのアクセス方法は以下の2通りです。
 - ① 下記URLまたは二次元バーコードよりアクセスする方法
- <https://www.mlit.site>
- 
- ② 下記メールアドレスに空メールを送信し、返信メールに記載のURLにアクセスする方法

web@mlit.site



ご回答用
WEBサイトに
入力・送信

- 各項目への入力方法につきましては、11ページ以降をご参照ください。
- 調査票以外にも提出必須書類がございますので、9ページをご参照ください。

※ 以下は一例であり、最終的に一事業者につき1つの回答をいただければ問題ございません。

主たる事務所および各営業所で回答する場合

【主たる事務所】

メールアドレス・
パスワードを登録



【主たる事務所】

各営業所へ回答依頼



【主たる事務所・各営業所】

ご回答用WEB
サイトにアクセス



【主たる事務所・各営業所】

ご回答用
WEBサイトに
入力・送信

- 下記の方法によりご回答・提出用WEBサイトへアクセスし、メールアドレスとパスワードを登録してください。

- ① 下記URLまたは二次元バーコードよりアクセスする方法

<https://www.mlit.site>



- ② 下記メールアドレスに空メールを送信し、返信メールに記載のURLにアクセスする方法

web@mlit.site

- 各営業所へのご回答依頼とともに、上記で登録したメールアドレスとパスワードを連絡し、共有してください（各営業所のご担当の方がWEBサイト上で回答いただく際に必要となります）。

- ※ 質問番号1番～16番は、主たる事務所向け
質問番号17番～92番は、各営業所向け
のご質問事項となっております。

- 上記のご回答・提出用WEBサイトにアクセスし、登録したメールアドレスとパスワードでログインしてください。

- 各項目への入力方法につきましては、11ページ以降をご参照ください。
- 調査票以外にも提出必須書類がございますので、9ページをご参照ください。
- 入力後は必ず「保存」ボタンを押下し、主たる事務所のご担当者様が各営業所が入力完了し「保存」していることを確認後、「提出」ボタンを押下してください。

4. 調査票のご提出方法のご案内

調査票ご回答期限：令和8年2月20日（金）

WEBサイト上での入力、またはExcelファイルのメール送付により、ご提出をお願いいたします。

※特殊車両についてはそれぞれの車型につきエクセルをダウンロード、回答する必要があるため、WEBサイト上での入力による回答を推奨いたします。

メール送付によるご提出方法

書面が送付された主たる事務所で回答する場合

ご回答に必要な
情報を収集

- 同封の書面調査票をご参照の上、ご回答に必要な情報を、各営業所等にヒアリングし、収集してください。
- ※ 質問番号1番～16番は、主たる事務所向け、質問番号17番～92番は、各営業所向けのご質問事項となっております。

Excelファイルを取得

- 下記メールアドレスに空メールを送信し、返信メールに記載のURLより、Excelファイルを取得してください。

ドライバン等 van@mlit.site

特殊車両 spc@mlit.site

Excelファイルに
入力後、提出

- 各項目への入力方法につきましては、11ページ以降をご参照ください。
- 調査票以外にも提出必須書類がございますので、9ページをご参照ください。
- ご提出は、以下のメールアドレスをお願いいたします。

submit@mlit.site

主たる事務所および各営業所で回答する場合

【主たる事務所】
Excelファイルを取得

- 下記メールアドレスに空メールを送信し、返信メールに記載のURLより、Excelファイルを取得してください。

ドライバン等 van@mlit.site

特殊車両 spc@mlit.site

【主たる事務所】
各営業所へ回答依頼

- 各営業所へのご回答依頼とともに、上記で取得したExcelファイルを送信、共有してください。
- ※ 質問番号1番～16番は、主たる事務所向け、質問番号17番～92番は、各営業所向けのご質問事項となっております。

【主たる事務所・各営業所】
Excelファイル
に入力

- 各項目への入力方法につきましては、11ページ以降をご参照ください。

【主たる事務所】
とりまとめ
提出

- 各営業所でご回答いただいた内容を、主たる事務所等にてお取りまとめをお願いいたします。
- ご回答欄に、各営業所の回答データを貼付しておまとめください。
- 調査票以外にも提出必須書類がございますので、9ページをご参照ください。
- ご提出は、以下のメールアドレスをお願いいたします。

submit@mlit.site

5.ご提出をお願いする書類について

調査票のほか、地方運輸支局へ提出した以下の書類のデータをご提出
ください。

(国土交通本省に対して、改めてご提出ください。)

① **事業実績報告書**

(令和7年7月10日までに提出した令和6年度のもの)

② **事業報告書**

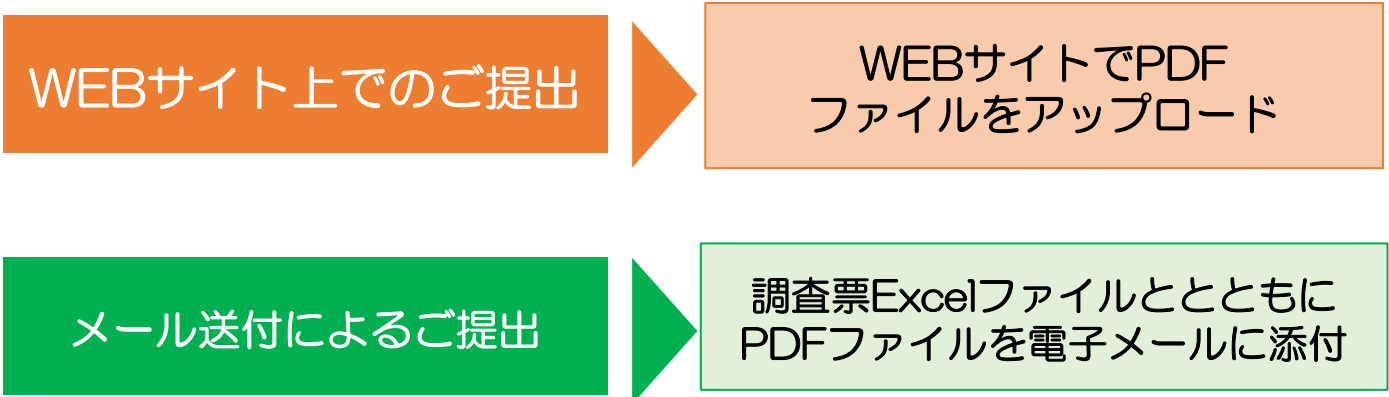
(直近の決算期後、100日以内に提出したもの)

- ① 一般貨物自動車運送事業損益明細表
- ② 損益計算書
- ③ 貸借対照表
- ④ 人件費明細表

※書類が両面プリントされている場合、片面のみコピーしての提出
ですと、書類不備となります。両面プリントされている場合には、
両面の写しとなっているかご確認をお願い致します。

【ご提出方法】

調査票の送付方法に応じて上記書類を以下の通りご提出ください。



6.調査に関するお問い合わせについて

調査に関するご不明点につきましては、以下の方法によりお問い合わせください。

よくあるご質問について

まずは、以下のWEBサイトにアクセスいただき、ご質問への回答が解説又は掲載されているかご確認ください。

動画解説はこちら



<https://www.mlit.site/ask>

Q&A集はこちら



<https://www.mlit.site/faq>

個別のお問い合わせについて

上記WEBサイトで疑問点が解決しなかった場合には、以下の連絡先までお問い合わせください。

メール・FAX

- ・メールアドレス ask@mlit.site
- ・FAX 03-6273-0485
- ・TEL 050-3642-4507 (携帯電話の定額プラン対象額となります)
※受付時間：月～金（祝日除く）/9時～18時
お電話は大変混みあい、つながりずらいため、
電子メール、FAXでのお問い合わせにご協力ください

ドライバン等 適正原価に関する実態調査

1 事業者名、住所、記入者名等をご記入ください。

事業者名			
住所			
記入者名			
連絡先 携帯電話番号	() -		
メールアドレス	@		
事業種別 (複数選択可)	☐ 一般貨物 ☐ 特定貨物 ☐ 特積貨物 ☐ 第一種利用運送 ☐ 第二種利用運送		
事業者番号		営業所数	営業所
事業許可年	(西暦) 年		

設問2～16までは、事業全体(全ての営業所を含む)について、ご回答ください。

2 【全ての営業所】で保有する車両台数についてご記入ください。

保有車両台数		両
--------	--	---

3 【全ての営業所】で保有する車両についてご記入ください。

	牽引車(ヘッド)	被牽引車(シャーシ)	大型(10tクラス)	中型(4tクラス)	小型(2tクラス)
ドライバン等	両	両	両	両	両
ドライバン等の車型	☐ バンボディ ☐ ウイングボディ ☐ 平ボディ ☐ 幌ウイング ☐ バン型(被牽引車)				
ドライバン等以外の車型	両	両	両	両	両
ドライバン等以外 の車型 (複数選択可)	☐ 冷蔵車・冷凍車 ☐ ダンプ車 ☐ タンク車 ☐ バルク車 ☐ コンテナ輸送車				
	☐ コンクリートミキサー車 ☐ トラック搭載型クレーン車 ☐ 一般廃棄物輸送車(塵芥車、衛生車等)				
	☐ 車積載車(キャリアカー) ☐ 重量物輸送車				
	☐ その他(右枠に記入)				

4 【全ての営業所】における「運転者」について、以下ご記入ください。

1ヶ月 合計	牽引車(ヘッド)	大型車 (10tクラス)	中型車 (4tクラス)	小型車 (2tクラス)	その他
運転者人数	人	人	人	人	人
月間 平均労働日数	日	日	日	日	日
月間 平均労働時間	時間	時間	時間	時間	時間
月間 平均賃金総額	万円	万円	万円	万円	万円
平均年齢	歳	歳	歳	歳	歳

5 過去2年間に、行政処分により事業停止処分を受けたことはありますか。

☐ はい ☐ いいえ ☐ 把握していない	(該当するもの1つ選択)
---	--------------

6 直近の決算月から過去2年間に、災害等の影響による営業収益・費用の一時的かつ大きな変動がありましたか。

☐ はい ☐ いいえ ☐ 把握していない	(該当するもの1つ選択)
---	--------------

主たる事務所の皆様のご回答事項

○事業者名：各運輸局に申請をしている名称をご入力ください。
○住所：各運輸局に申請をしている住所をご入力ください。
○記入者名：ご回答内容について、ショートメッセージ、電話、電子メールで照会する場合がありますので、入力内容をご理解されている方のお名前をご入力ください。
○連絡先の携帯電話番号：ショートメッセージにより連絡する場合がありますので、なるべく携帯電話番号をご入力ください。
○メールアドレス：ご回答内容について問い合わせさせていただく場合がありますので、連絡がとれるメールアドレスをご入力ください。
○貨物運送事業の許可等に関する事業種別のうち、当てはまる事項を全てご選択ください。

○事業者番号は、送付された封筒の宛名ラベルの下段の記載を転記してください。
○許認可を受けている営業所数（一般貨物自動車運送事業が対象 貨物利用運送専業営業所を除く）をご回答ください。
○貨物自動車運送事業の許可年について、西暦でご回答ください。

○事業者が保有する全ての車両（緑ナンバー）の台数の合計をご回答ください。
（※軽貨物車（黒ナンバー）、営業車（白ナンバー）を含めません）

○ドライバン等とは、バンボディ、ウイングボディ、平ボディ、幌ウイング、バン型（常温）の被牽引車と、それを牽引する牽引車をいいます。
○バン型以外の特殊車型の被牽引車をお持ちの場合も、ドライバン等以外の車型からご選択ください。
○車両の区分（大型、中型、小型）の括弧書き内に記載している重量は、車両総重量ですが、車両総重量等による厳密な区分ではなく、日ごろの感覚的なご認識を踏まえ、ご回答ください。
○最大積載量は、大型（10tクラス）が6.5トン以上、中型（4tクラス）が2トン超6.5トン未満、小型（2tクラス）は2トン以下を目安にしてください。
○ドライバン等以外の車型を保有している場合、該当する車型として当てはまるもの全てをご選択ください。（選択する車型について単車・被牽引車のいずれかを問いません。）
○バン型の被牽引車と特殊車型の被牽引車に対して、同じ牽引車を兼用している場合は、バン型の牽引車の欄にその台数をご回答ください。
○該当する車型以外の車型を保有している場合は、その他の欄に回答ください。

○各車格別に従事する、全ての営業所の運転者について、各「平均値」をご回答ください。
○全ドライバーの平均値を算出するのが困難な場合、代表的な運転者を抽出して、ご回答ください。
○月間平均労働時間は、改善基準告示の「拘束時間」ではなく、休憩時間（1時間程度）を除外した「労働時間」をご計算ください。
○平均賃金総額は、賃金台帳、「概算・確定保険料申告書」（2025年7月期限の提出分）等を参考に回答ください。

主たる事務所の皆様のご回答事項

7 直近の決算月から過去2年間に、設立、合併、事業譲渡・譲受のいずれかが発生している場合、該当するものをすべて選択してください。

(複数選択可)

☐ 設立 ☐ 合併 ☐ 事業譲渡・譲受 ☐ 発生していない ☐ 把握していない

8 過去2期の決算において、決算期の変更により決算期間が通常より短縮または延長された結果、通常の決算期間と比べて業績が著しく変動している状況はありますか。

☐ ない ☐ あった ☐ 把握していない

(該当するもの1つ選択)

以下、事業実績報告書の「一般貨物自動車運送事業損益明細表」、
「貸借対照表(B/S)」、「損益計算書(P/L)」をご参照の上、ご回答ください。

9 一般貨物自動車運送事業損益明細表で、
直近の決算期で、営業損益(営業利益)が黒字(プラス)ですか。

☐ 黒字 ☐ 赤字 ☐ 把握していない

(該当するもの1つ選択)

10 一般貨物自動車運送事業損益明細表で、
過去2期連続で、経常損益(経常利益)が黒字(プラス)ですか。

☐ 黒字 ☐ 赤字 ☐ 把握していない

(該当するもの1つ選択)

11 直近の決算期の貸借対照表「株主(自己)資本の部」は債務超過ですか。

※債務超過は「株主資本合計がマイナス」の状態です。

☐ 債務超過ではない ☐ 債務超過である ☐ 把握していない

(該当するもの1つ選択)

12 一般貨物自動車運送事業損益明細表から、「千円」単位で転記してください。

営業収益(合計)	千円	備車費用 (損益明細表の「その他」欄に備車費が未記載の場合、ご確認の上、ご記入ください)	千円
施設使用料	千円	一般管理費(合計)	千円
施設賦課税	千円	営業費用(合計)	千円
事故賠償費	千円	営業損益(営業利益)	千円
その他(備車費を除外)	千円	経常損益(経常利益)	千円

13 直近の確定申告で提出をした損益計算書(P/L)から、「千円」単位で転記してください。

売上高(会社全体)	千円	営業損益(営業利益)	千円
		経常損益(経常利益)	千円

14 決算書作成にあたり、税理士・公認会計士が関与していますか。

☐ 関与している ☐ 関与なし ☐ 把握していない

(当てはまるもの1つ選択)

○直近の決算月時点を基準にします。

例示：直近決算日：令和7年3月31日・・・令和5年4月1日から令和7年3月31日までの間の、設立、合併、事業譲渡・譲受について、ご確認ください。

○決算期間が11か月以下の場合が「影響があった」に該当します。例示：決算月を3月から1月に変更した場合、決算期間は10か月となるため、「影響があった」を選択してください。

○事業報告書にある「一般貨物運送自動車事業損益明細表」を過去2期分ご用意ください。

- ・営業損益：直近1期分が黒字(プラス)か、ご確認ください。
- ・経常損益：2期連続で黒字(プラス)か、ご確認ください。

○「2期連続」とは、例えば直近2025/3期、2024/3期の2期連続で、黒字であることをいいます。

○貸借対照表の「株主資本合計」をご確認ください。

「株主資本合計額が」プラス(+) → 債務超過ではない
「株主資本合計額が」マイナス(▲) → 債務超過である

○一般貨物自動車運送事業損益明細表を確認してください。明細表の記載は通常、「千円単位」です。記載されている単位をご確認いただき、千円単位でご回答ください。明細表によっては、「円単位」「万円」の単位で記載されているケースがありますので、ご確認ください。

○明細表の中の「運送費」の「**その他**」の欄に、**備車費の記載がない場合**、経理担当等に確認して庸車費及び、庸車費を除外した「その他」に区分してご回答ください。**重要な回答事項のため、正確にご回答ください。**

○損益計算書は、上記一般貨物自動車運送事業損益明細表と同じ期の数字を転記してください。

○「仕分け、帳簿記載」だけを税理士が行い、事業者が決算書を作成している場合、税理士は関与していませんので、「関与なし」をご選択ください。

主たる事務所の皆様のご回答事項

15 【過去1年間】輸送の安全確保のために必要な経費のうち、該当するものを選択の上、「万円」単位の概算経費（税込）及び研修等に要している時間を記入してください。
（複数選択可） ※「該当しない」場合、未記入で構いません。

	年間受講時間	概算額（年間の平均 支出額・償却額）税込額
☐ 【トラック法法定】運行管理者講習の受講費用	時間/年	万円/年
☐ 【トラック法法定】整備管理者講習の受講費用	時間/年	万円/年
☐ 【トラック法法定】運転者講習の受講費用	時間/年	万円/年
☐ 【トラック法法定】運転者の適性診断受診費用 （初任、一般、適齢、特別等）	時間/年	万円/年
☐ 【トラック法法定】アルコール検知器導入費用		万円/年
☐ 【労働安全衛生法法定】雇入れ時健康診断に係る費用		万円/年
☐ 【労働安全衛生法法定】定期健康診断に係る費用		万円/年
☐ 【法定以外】安全性優良営業所（Gマーク） 認定申請費用		万円/年
☐ 【法定以外】安全マネジメントコンサルティング費用		万円/年
☐ 【法定以外】自動点呼システム導入費用		万円/年
☐ 【法定以外】熱中症対策費用		万円/年
☐ 【法定以外】安全運行管理システム導入費用		万円/年
☐ 【法定以外】ドライバーの研修時間	年間研修時間 時間/年	万円/年
☐ その他		万円/年

- 輸送の安全確保のために必要な経費として、直近決算期における1年間の費用を算定してください。システム導入費用のように、複数年にわたる安全対策費の投資の場合には1年間の減価償却費等、1年間の費用に換算してご回答ください。
- 年間受講時間は、ドライバー人数×年間平均受講時間により、概算時間をご計算ください。
- 正確な数字を把握できない場合には、概算額をご回答ください。
- 車両に係る安全対策費は別設問（ドライバン等：設問44、牽引車：設問66）にご記入ください。
- 該当する項目以外の輸送の安全確保のために必要な経費がある場合には「その他」の欄に具体的な経費をご記入ください。

主たる事務所の皆様のご回答事項

16 トラック運送事業を継続して遂行するために必要不可欠な投資のうち、以下の条件に該当する取組について、「万円単位」の概算額（年間の平均支出額（償却額）／税込）をご記入ください。

- ◎選定条件 ①直近5年間で事業を継続するうえでの必要性が高まったもの
 ②現行の標準的運賃において構成要素として項目立てされていないもの
 ③毎年継続的に発生するもの

↓☑記号を記入

（複数選択可）

※「該当しない」場合、未記入で構いません。

概算額（年間・平均支出額・償却額/税込）

事業基盤強化に向けた投資	総費用に 対する割合	%	概算額	万円/年
☐施設・設備更新	荷役設備の更新(フォークリフト等)			
	待機場所の確保			
	その他:			
☐コンプライアンス・ガバナンス	業務システムのセキュリティ対策強化			
	法令遵守管理システム			
	各種認証の取得・維持			
	その他:			
将来の人材関連投資	総費用に 対する割合	%	概算額	万円/年
☐採用・確保	・外国人労働者受入体制整備			
	・若年・女性・高齢者活用環境整備			
	その他:			
☐育成・教育	・免許取得支援制度			
	・階層別研修プログラム			
	・eラーニングシステム導入			
	・運転技能伝承プログラム			
	その他:			
☐労働環境改善	・休憩施設の充実(シャワー、仮眠室等)			
	・中継輸送拠点の整備			
	・積み卸し作業の省力化投資			
	・福利厚生制度の充実			
	その他:			
BCP(事業継続計画)関連投資	総費用に 対する割合	%	概算額	万円/年
☐災害対応体制構築	・代替拠点・営業所の確保・整備			
	・非常用通信システムの構築			
	・災害・緊急時の輸送体系の構築			
	・災害時燃料確保体制			
	・非常用電源設備(発電機、蓄電池)			
	その他:			
☐サプライチェーン強靱化	・代替輸送ルートの開発・維持			
	・協力会社ネットワークの構築・維持			
	その他:			
環境対策投資	総費用に 対する割合	%	概算額	万円/年
☐車両の環境対応	・次世代車両への更新(EV、FCV、HV)			
	・エコタイヤの導入			
	・EV充電設備の整備			
	その他:			
☐環境規制等対応	・環境認証取得・維持(ISO14001等)			
	・将来規制への先行投資			
	・グリーン物流構築費用			
	その他:			
☐その他	総費用に 対する割合	%	概算額	万円/年

○トラック運送事業を継続して遂行するために必要不可欠な投資について、ご回答ください。

○表の各項目が「該当しない」、「把握できない」場合、未回答としてください。

○投資の項目を選択できても、概算額が不明の場合、項目だけに☑を入れてください。

○各項目ごとの記載例以外の取り組みがある場合には「その他」の箇所にご記入ください。

○概算は、1年間の費用に該当する概算額としてください。

○システム導入に係る投資原資のように、複数年にわたる投資原資となる場合には、1年間の減価償却費に換算し、1年間の費用額としてください。

○表にある項目に該当項目がない場合、「その他」に具体的な内容、概算額をご入力ください。

主たる事務所または他営業所の皆様のご回答事項

設問17以降：営業所として、契約、料金收受等の実態をご回答ください。
個別ケースではなく、営業所全体の傾向をご回答下さい。

17 附帯作業料の收受実態についてご回答ください。

※「回数」単位で收受している場合、「1時間単位」に換算してください。

↓☑記号を記入

※收受をできていない場合は1時間当たりの本来收受すべき額（収入損失額）をご回答ください。

（複数選択可） 附帯作業等の項目	1時間当たり 收受額（税込）	附帯作業料金が運賃 に含まれている	收受できていない 1時間当たり 収入損失額（税込）
☐ ピッキング、荷揃え作業	円	☐	円
☐ シール貼付作業	円	☐	円
☐ 家電、機械等の設置、据付作業	円	☐	円
☐ 倉庫格納作業（棚入れ含む）	円	☐	円
☐ 代金回収作業	円	☐	円
☐ 空パレット、空ラック等の回収作業	円	☐	円
☐ 清掃作業、梱包資材の回収作業	円	☐	円
☐ 数量検品作業（品質チェックも含む）	円	☐	円
☐ その他→	円	☐	円
☐ 附帯作業を自社で行っていない			

○附帯作業料金が運賃に含まれている場合、「附帯作業料金が運賃に含まれている」に☑を入れ、附帯作業料金に相当する1時間当たりの收受額をご回答ください。

○附帯作業料金を收受できていない場合は、1時間当たりの本来收受すべき額を「1時間当たり収入損失額」にご回答ください。

○回数単位で收受している場合、1時間単位に收受額を換算してください。

○附帯作業について、該当する項目がない場合、「その他」の枠内に具体的な作業内容と1時間当たりの收受額をご回答ください。

18 積込・取卸作業料の收受実態についてご回答ください。

（複数選択可）

☐ 主に手荷役作業	→ 1時間当たり收受額：		円（税込）
☐ 主にフォークリフト、クレーン等作業	→ 1時間当たり收受額：		円（税込）
☐ 積込・取卸作業料金として收受していない（運賃に含まれている）			
☐ 積込・取卸作業料金を実質的に收受できていない			
☐ 積込・取卸作業を自社で行っていない			

○取引先によって、收受金額が異なる場合や、都度変動する場合などの場合、平均額をご回答ください。

○積込・取卸の作業で手荷役とフォークリフトを併用する場合は、手荷役の所要時間が5割超となる場合には、主に手荷役作業をご選択ください。一方でフォークリフト等の作業時間が5割超となる場合には、主にフォークリフト、クレーン等作業をご選択ください。

○積込・取卸作業料が運賃にも含められておらず、別建て收受もできない場合には、「実質的に收受できていない」に☑を入れてください。

19 複数箇所での積込・取卸・附帯作業を行う場合の收受実態についてご回答ください。

（該当するもの1つ選択）

☐ それぞれの箇所での作業料金を收受
☐ 1箇所での作業料金に含まれている
☐ 作業料金として收受していない（運賃に含まれている）
☐ 作業料金を実質的に收受できていない
☐ 作業を自社で行っていない

20 運転者が積込・取卸作業をしない場合（荷主・倉庫業者等が作業する場合）、積込・取卸時における「運転者の立会い及び積付作業（養生・固縛等）の時間費用」を收受していますか。

（該当するもの1つ選択）

☐ 積込・取卸時の立会い・積付作業に係る料金を收受 → 1時間：		円（税込）
☐ 運賃に含めて收受（一定時間分を反映）		
☐ 実質的に收受できていない		
☐ 把握していない		

主たる事務所または他営業所の皆様のご回答事項

21 荷待ち等の待機時間料を収受できていますか。（荷主等の責任に基づく時間に限定し、指定時間よりも早めに到着した場合の待機時間は対象としません。）

※収受できていない場合は1時間当たりの本来収受すべき額（収入損失額）をご回答ください。

収受実態の選択肢 （複数選択可）	1時間当たり収受額（税込）
☐ 運賃とは別建てにして収受	円
☐ 運賃に含めて収受（実質的に収受できている）	円
☐ 実質的に収受できていない	→
☐ 把握していない	円

収受できていない
↓1時間当たり収入損失額（税込）↓

22 【指定時間前の待機時間】貨物取卸の指定時間がある場合、到着から取卸し開始までの待機時間が発生することがありますか。
（複数選択可）

☐ 待機時間が発生しているが、待機時間料を収受できていない → 1年以内最長で約 時間

☐ 待機時間が発生することがあり、待機時間料を収受している

☐ 把握していない

23 荷主等に燃料サーチャージの導入に向けた交渉をしたことがありますか。

☐ はい ☐ いいえ ☐ 把握していない

（該当するもの1つ選択）

24 燃料サーチャージを導入していますか。導入している場合、受注件数に対する割合をご回答ください。
（該当するもの1つ選択）

☐ 導入済 → 割合 % ☐ 導入していない ☐ 把握していない

25 燃料サーチャージの基準価格と購入価格の年間の平均額をご回答ください。

※ 上記「23」で、「導入していない」「把握していない」を選択した場合、記入は不要です。

平均的な基準価格（税込）	→ 平均		円/L
平均的な購入価格（税込）	→ 平均		円/L（令和8年1月時点）

26 燃料の調達方法をご回答ください。
（複数選択可）

☐ 協同組合購入 ☐ スタンド購入 ☐ ローリー調達（インタンク） ☐ その他

27 高速道路やフェリーを利用した場合、当該利用料金を実質的に収受している割合をご回答ください（運賃に含められている場合を含めます）。

高速道路利用料金を収受している比率	%
フェリー利用料金を収受している比率	%

28 高速道路利用料金の請求額で、基準としている主な料金をご回答ください。

☐ 基本利用料金 （当てはまるもの1つ選択）

☐ 時間帯割引、深夜割引等の割引適用後の料金

☐ 大口多頻度割引適用後の料金

○指定時間から荷役作業開始までの待機時間をいいます。

- 待機時間料の1時間当たりの平均収受額をご回答ください。
- 待機時間料が運賃に含められている場合、待機時間料金に相当する1時間当たりの収受額をご回答ください。
- 待機時間料を収受できていない場合は、1時間当たりの本来収受すべき額を「1時間当たり収入損失額」にご回答ください。

○運行計画上、早い時間に到着できるが、荷主等の都合により、取卸時間をより遅く設定された場合の待機時間をいいます。

例：運行計画上、8時に到着できるが、荷主の指示により17時に取卸した。
8時から17時までが、調査対象の待機時間です。

○荷主等からの発注件数のうち、1件でも導入できていれば、「導入済」をご選択ください。

○荷主等からの発注件数が把握できない場合には、取引額を基準に比率を算出してください。

○導入済の場合、全体の「荷主等からの発注件数に対する割合」となります。

導入件数÷全体の荷主等からの発注件数＝〇〇% により算出してください。

○基準価格とは、燃料サーチャージが有効となる燃料単価です。消費税を含めた基準価格をご回答ください。

○荷主等からの発注件数のうち、高速道路やフェリーを利用した運行について、荷主等から料金等収受できている割合をご回答ください。

○高速道路利用料金の請求の基準となる料金の種別をご回答ください。

○実費を荷主等に請求している際、貴社の利用頻度によっては大口多頻度割引や深夜割引適用後の実際に払った料金を請求している場合があります。

主たる事務所または他営業所の皆様のご回答事項

29 主な取引次数（元請、1次、2次、3次以上）と取引比率をご回答ください。

☐ 真荷主と直取引（元請の立場で受注）	→	約		割	（複数選択可）
☐ （元請から見て） 1次請け	→	約		割	
☐ （元請から見て） 2次請け	→	約		割	
☐ （元請から見て） 3次請け以上	→	約		割	
☐ 把握していない（合計10割になるようにしてください）					

30 利用運送手数料（傭車手配の手数料）の請求、支払いについてご回答ください。

☐ 主に運賃に加算して荷主等に請求	（複数選択可）
☐ 主に運賃から差し引いて協力会社等に支払い	
☐ 傭車手配を行っていない	
☐ 把握していない	

31 利用運送手数料（傭車手配の手数料）の平均的な水準をご回答ください。（複数選択可）

☐ 運賃に一定率を乗じた額を差し引いて協力会社等に支払い	平均		%
☐ 運賃に一定率を乗じた額を加算して荷主等に請求	平均		%
☐ 運賃額に関係なく定額を差し引いて協力会社等に支払い	平均		円（税込）
☐ 運賃額に関係なく定額を加算して荷主等に請求	平均		円（税込）

○複数の利用運送手数料のパターンがある場合には、平均的な概算比率、概算値をご回答ください。

32 キャンセル料について、ご回答ください。

※ ①定額→キャンセル定額料金を記入、②運賃比率→運賃比率を記入、③定額及び運賃比率→定額料金及び運賃比率を記入

キャンセル連絡 が入る時期	キャンセル料 計算方法 (複数選択可)	キャンセル料 定額料金(税込) 該当するものをご記入ください(該当なしは未記入とします)	キャンセル料 運賃比率	キャンセル頻度 (対年間件数) 存在しない場合は未記入でよい
輸送当日：出庫後	☐ 定額料金 ☐ 運賃比率から算出	円	%	%
輸送当日：出庫前	☐ 定額料金 ☐ 運賃比率から算出	円	%	%
輸送前日	☐ 定額料金 ☐ 運賃比率から算出	円	%	%
輸送2日前	☐ 定額料金 ☐ 運賃比率から算出	円	%	%
輸送3日前	☐ 定額料金 ☐ 運賃比率から算出	円	%	%
輸送4日前	☐ 定額料金 ☐ 運賃比率から算出	円	%	%

○キャンセル料の計算方法の選択内容により、以下のようにご回答ください。
計算方法「定額料金」 → 定額料金を回答
計算方法「運賃比率から算出」 → 運賃比率
計算方法 両方を選択 → 定額料金及び運賃比率

○実際に適用しているそれぞれの「キャンセル時期（例：輸送前日等）」について、ご回答ください。

○適用していないキャンセル時期（例：輸送4日前など）があれば、その時期については未回答としてください。

33 運行距離帯別に、主な輸送について、運行距離、復荷（帰り荷）を確保できる割合、往路運賃に対する割合をご回答ください。

回答例：往路が5万円、復路が4万円の場合、8割と回答

	平均運行距離	復荷（帰り荷）を確保できる割合	復荷（帰り荷）の運賃水準 往路運賃に対して何割ですか
近距離帯 （200km未満）	km	約 割	約 割
中距離帯 （200km以上～ 450km未満）	km	約 割	約 割
長距離帯 450km以上	km	約 割	約 割

○復路について、全運行数に対して復荷（帰り荷）を確保できる割合をご回答ください。

○帰り荷の運賃水準は、往路の運賃を100とした場合、どのくらいの割合になりますか。2割減の80程度であれば、8割とご回答ください。

主たる事務所または他営業所の皆様のご回答事項

34 復荷（帰り荷）がなく、復路等を「空車走行」する場合、空車の移動費用（回送料金）の
収受状況、計算方法をご回答ください。(複数選択可)

☐ 収受できている

☐ 所要時間から計算 (平均・税込) →

円/時間

☐ 走行距離から計算 (平均・税込) →

円/km

☐ 往路運賃に対する割合で計算 (税込) →

割

☐ その他

☐ 収受できていない

☐ 把握していない

35 適用している割引料金をご回答ください。(複数選択可)

	1運行当たり 定額での割引料金 (平均・税込)	運賃等の割引率 (平均)
☐ 長期契約割引	円	%
☐ 往復割引	円	%
☐ 月極割引 (月間で、一定日数以上の稼働で割引)	円	%
☐ 積合せ割引 (積合せする場合、割引)	円	%
☐ 積載個数割引 (個建運賃で一定数量以上を割引)	円	%
☐ その他 →	円	%

36 適用、収受している割増料金をご回答ください。(複数選択可)

※割増料金、割増料は該当する場合に記入し、不明な場合は記入しなくてもよい。

	1運行当たり 定額での割増料金 (平均・税込)	運賃等の割増率 (平均)
☐ 深夜・早朝割増料	円	%
☐ 休日割増料	円	%
☐ 速達割増料 (到着時間を前倒しする割増)	円	%
☐ 一般道利用割増料 (高速道路を利用できる運行で、利用が許可されない場合の割増料)	円	%
☐ 品目別割増料	円	%
☐ 特大品割増料	円	%
☐ 冬期割増料	円	%
☐ 悪路割増料	円	%
☐ 地区割増料	円	%
☐ 到着 (納品) 時間指定に係る割増料	円	%
☐ 宵積み割増料 (当日積込、翌日運送・取卸)	円	%
☐ 運行条件変更割増料 (当日・前日の変更等)	円	%
☐ 複数個所の積込・取卸割増料	円	%
☐ 作業員配置 割増料	円	%
☐ その他 →	円	%

○復荷（帰り荷）がない運行について、空車の移動費用（回送料金）の収受状況をご回答ください。

○回送料金を収受している場合、計算式等をご回答ください。

○荷主等に対する請求時に、適用している割引料金について、ご回答ください。

○割引料金を適用している場合、次の内容をご回答ください。
定額の割引を設定している場合：その金額
割引率を設定している場合：その割合（％）

○「適用していない」「把握できていない」場合には、ご回答は不要です。

○表にある項目に該当項目がない場合、「その他」に具体的な内容、料金、割合をご入力ください。

○荷主等への請求時に適用し、実際に収受している割増料金についてご回答ください

○割増料金として請求している場合、次の内容をご回答ください。
定額の割増を設定している場合：その金額
割増率を設定している場合：その割合（％）

○「適用していない」「把握できていない」場合には、ご回答は不要です。

○表にある項目に該当項目がない場合、「その他」に具体的な内容、概算額をご入力ください。

主たる事務所または他営業所の皆様のご回答事項

37 「個建運賃」を適用している場合、ご回答ください。
どのような基準により設定していますか。

☐重量(重さ)

☐容量(体積)

☐個数(ケース数)

☐重量と容積等の複数要因

☐パレット(ラック)単位

☐その他

38 個建運賃における、【年間】「平均積載率」と「その主な輸送品」をご回答ください。

【年間】平均積載率

約

%

主な輸送品:

39 主な輸送について、実車距離、平均拘束時間、平均運賃額、平均料金額をご回答ください。
(平均料金額は作業料、待機時間料、割増料等とします)

※平均運賃額は高速道路利用料金等の実費を除外、個建運賃の場合、一台に換算した額としてください。

車格 (該当するもの1つ選択)	実車距離 (貨物を輸送する距離)	平均拘束時間 (待機時間、作業時間等を含む)	平均運賃額 (平均・税込)	平均料金額 (平均・税込)
☐ 小型 ☐ 中型 ☐ 大型 ☐ トレーラ	km	時間 分	円	円
☐ 小型 ☐ 中型 ☐ 大型 ☐ トレーラ	km	時間 分	円	円
☐ 小型 ☐ 中型 ☐ 大型 ☐ トレーラ	km	時間 分	円	円
☐ 小型 ☐ 中型 ☐ 大型 ☐ トレーラ	km	時間 分	円	円
☐ 小型 ☐ 中型 ☐ 大型 ☐ トレーラ	km	時間 分	円	円

- 個建運賃がない場合には、未回答としてください。
- 個建運賃設定のための計算の基礎となる年間「平均積載率」をご回答ください。
複数の契約がある場合、平均値または概算値をご回答ください。
- 主な輸送品が複数ある場合、当該複数の輸送品目をご回答ください。

- 適正原価の水準設定の際に参考とする実勢運賃です。適正原価と実勢運賃額の乖離を把握し、分析することを目的としています。ご回答内容は統計的に処理されます。
- ここで、平均運賃額（税込）は、正味の収入額を意味します。
→運賃から高速道路利用料金、フェリー利用料金等の実費を除外します。
→料金は、待機時間料、各種附帯作業料金をご回答ください。
- 平均「拘束時間」は運行に関連する「運転時間、待機時間、作業時間、連続運転時間に関連する休憩時間」等を含めた時間をご計算ください。

【単車】 車両に関する情報について、以下、必ずお読みください。

✓ドライバン等（バンボディ、ウイングボディ、平ボディ、幌ウイング）、冷蔵車・冷凍車、ダンプ車、タンク車、バルク車、海上コンテナ輸送車、コンクリートミキサー車、トラック搭載型クレーン車、霊柩車、一般廃棄物輸送車（塵芥車、衛生車等）、車積載車（キャリアカー）、重量物輸送車のうち、それぞれの車型につき1台を選定の上、ご回答ください。
 ◆車両選定の優先条件（以下に全て当てはまらなくても問題ありません）
 ✓最も稼働率の高い車両を優先（1日当たり平均稼働時間8～15時間）
 ✓購入した車両（リース車両でない）を優先
 ✓新車で調達した車両（中古車で調達していない）を優先
 ✓新規登録から5年以内（新規登録から5年超経過していない）を優先
 ※車格（車種）は、小型、中型、大型等の指定はありません。
 ✓上記車両も保有していない場合はその他車型等についてご回答ください。

回答車両選定
シミュレーション



40 記入する車両の形状について、該当するものを選択してください。

（該当するものを1つ選択）

☐ドライバン等（☐バンボディ ☐ウイングボディ ☐平ボディ ☐幌ウイング）
※ドライバン等のうちバンボディまたはウイングボディを優先して選択してください
☐冷蔵車・冷凍車 ☐ダンプ車 ☐タンク車 ☐バルク車
☐海上コンテナ輸送車 ☐コンクリートミキサー車 ☐トラック搭載型クレーン車 ☐霊柩車
☐一般廃棄物輸送車（塵芥車、衛生車等） ☐車積載車（キャリアカー） ☐重量物輸送車
☐その他

41 記入する車両の形状等についてご記入ください。 所属営業所名

最大積載量 トン 車両総重量 トン 新規登録年 年
 排気量 リットル 軸数 本 使用予定年数 年
（新規登録から廃業、下取りまで見込）

42 記入対象の車両はどのように調達しましたか。購入、リースのいずれかを選択してください。

※購入による車両調達を優先してご回答ください。

（該当するものを1つ選択）

☐購入による調達 ☐リースによる調達 ☐その他

43 購入、リースのいずれかにご回答ください。

※車両本体価格は、「44 車両の付属備品等の費用」を除外してご記入ください。

（該当するものを1つ選択）

（該当するものを1つ選択）

購入：選択 → ☐新車 ☐中古車
 ※新車で調達した車両を優先的にご回答ください。

車両本体価格 万円（税込）
（※ オプション費用を含める）

リース：選択 → ☐新車 ☐中古車

・車両本体価格 万円（税込）
 ・平均月額リース料金 円（税込）
 ・契約期間 年 ヶ月
 ・契約終了時買取価格 万円（税込）

44 車両の付属備品等の費用のうち輸送の安全確保のために必要な経費をご記入ください。

※車両費に含まれ、区分することが難しい費用についてはご回答不要です。

車両の付属備品等の費用		万円（税込）
運行記録計（デジタコ）		万円（税込）
ドライブレコーダー		万円（税込）
ASV（衝突被害軽減ブレーキ、デッドマン装置、アルコールインターロックなど）		万円（税込）
上記以外で輸送の安全確保のために必要な経費		万円（税込）

主たる事務所または他営業所の皆様のご回答事項

単車、牽引車、被牽引車の回答要領の内容は同じです

○ドライバン等を保有している場合は、バンボディ、ウイングボディ、平ボディ、幌ウイングのいずれか1台について回答してください。（バンボディまたはウイングボディを優先して選定してください。）

○特殊車両（冷蔵車・冷凍車、ダンプ車、タンク車、バルク車、コンテナ輸送車、コンクリートミキサー車、トラック搭載型クレーン車、霊柩車、一般廃棄物輸送車（塵芥車、衛生車等）、車積載車（キャリアカー）、重量物輸送車）を保有している場合はこれらの全ての車型について回答してください。当書面はドライバン等の様式となるため、WEB回答またはエクセル回答のいずれかにより、ご回答をお願いいたします。

○ドライバン等と特殊車両の両方を保有している場合は、「ドライバン等から1台以上」＋「特殊車両は全車型それぞれ1台以上」を回答してください。

○詳細な车型の説明については下記ページをご参照ください。
<https://jta.or.jp/ippan/hayawakari/2-shurui-page1.html>



○車両選定の優先基準（→全て該当しなくても問題ありません）

- ・最も稼働率の高い車両を優先（1日当たり平均稼働時間8～15時間）
- ・購入した車両（リース車両でない）を優先
- ・新車で調達した車両（中古車で調達していない）を優先
- ・新規登録から5年以内（新規登録から5年超経過していない）を優先

○車格は、小型車、中型車、大型車、トレーラのいずれでも構いません。

※上記の車両選定の基準に当てはまらない車両を保有する場合でも、ご回答ください
 （例）新規登録から8年経過後、中古で取得した車両が最も稼働率が高く、新車調達車両がない場合→この車両をご回答いただいて差支えありません。

回答車両選定
シミュレーション



○車両の車検証を見ながら、ご回答ください。

○中古車の場合、取得した年ではなく、車検証に記載のある初度（新規）登録年をご回答ください。

○車両本体価格は、車両の付属備品等の費用を除外して回答してください。
 ○リースについては、把握している箇所のみ、回答してください。把握していない箇所は、空欄にしてください。
 （車両の付属備品等の費用は単車は44、牽引車は66にて回答してください。）

○車両の付属備品等の費用及び当該費用のうち輸送の安全確保のために必要な経費について、税込額でご回答ください。

○車両調達費が他の費用に含められ、金額を切り出して把握できない場合、空欄とするか、概算額をご回答ください。

○毎年必要な車検や定期点検費用は、この欄には計上せずに、後の修理費に計上してご回答ください。
 （修理費は、単車：設問54、牽引車：設問75、被牽引車：設問93にて回答してください。）

主たる事務所または他営業所の皆様のご回答事項

単車、牽引車、被牽引車の回答要領の内容は同じです

○1回当たりの主な運行距離帯をご回答ください。複数の距離帯に従事している場合、その中で、最も多い距離帯を選択してください。

○複数の輸送品がある場合には、複数ご回答ください。

○環境性能割等の税金については、
実際の支払い実績額をご回答ください。免除された場合には、「0」とご回答ください。

○環境性能割（旧・自動車取得税）を確認できない場合、未回答としてください。

○任意保険料
加入していない場合 → 未回答としてください
加入している場合 → 車両に直接割付けできる場合は、当該金額を回答してください。
事業者単位で契約している場合には、台数等で割り、1台当たりの金額を計算してください。
例：年間任意保険料 ÷ 加入台数

○平均的な燃費
年間の平均燃費を把握できない場合、月間、短期間の平均燃費をご回答ください。

○オイル交換を自社の運転者等の従業員が実施する場合、
1回交換当たりの所要時間×時給単価により計算してください。

○タイヤ交換工賃
交換費用、ローテーションに要する費用も含めてください。

○タイヤ・ローテーションを自社の運転者等の従業員が実施する場合、
タイヤ・ローテーション1回当たりの所要時間×時給単価により計算してください。

○工夫して活用している場合
全てのタイヤを廃棄せず、利用できるタイヤを保管して、再利用している場合であっても、一度に全てのタイヤを交換する前提で、ご回答ください。

45 この車両の主な運行距離帯について、1つ選択してください。 (該当するものを1つ選択)

☐ 近距離輸送 (200km未満) ☐ 中距離輸送 (200km以上～450km未満) ☐ 長距離輸送 (450km以上)

46 この車両の主な輸送品をご記入ください。(複数記入可)

47 この車両には、【1日】当たり平均何名の運転者が乗務しますか。
(二交代→2名・三交代→3名)

【1日】当たり平均乗務人数 平均		名
------------------	--	---

48 この車両の環境性能割(旧・自動車取得税)、自動車税、自動車重量税について、それぞれご記入ください。

※ リース契約に含まれている場合、記入は不要です。(空欄でご提出ください。)

環境性能割(旧・自動車取得税)【取得時】		円
自動車税【令和7年度】(月割りの場合、12か月に換算)		円
自動車重量税【新規登録時、または車検時】		円

49 【年間】この車両の自賠償保険、任意保険について、それぞれご記入ください。

※ リース契約に含まれている場合、記入は不要です。

自賠償保険【新規登録時、または車検時】		円
任意保険【会社単位で契約の場合、1台当たりに換算】 (未加入の場合、記入不要)		円

50 【年間】この車両の平均的な燃費をご記入ください。

平均的な燃費	.	km/L(小数点第1位まで)
--------	---	----------------

51 【年間】この車両のオイル単価、オイル交換量、オイル交換1回当たりの走行距離、工賃等をご記入ください。 ※ 自社交換では、「従業員の平均時給単価×時間」で計算。リース契約に含まれている場合、記入不要。

オイル単価	1リットル当たり		円(税込・平均)
オイル交換量	1回当たり		L(平均)
走行距離	オイル交換1回当たり		km(平均)
オイル交換の工賃	1回当たり		円(平均)

52 【年間】この車両のタイヤ単価、必要本数、交換工賃等をご記入ください。

※ タイヤ交換距離は平均交換距離とします。リース契約に含まれている場合は、記入は不要です。

タイヤ単価	1本当たり		円/本(税込・平均)
タイヤの必要本数	1両当たり		本/両
タイヤ交換の工賃 タイヤローテーション工賃を含める	1回当たり		円/回(税込)
走行距離	タイヤ1交換当たり		km/回(平均)

53 【年間】この車両の尿素有の単価、1リットル当たり走行可能距離をご記入ください。

※ リース契約に含まれている場合は、記入は不要です。

尿素有の単価	1リットル当たり		円(税込・平均)
走行可能距離	1リットル当たり		km/L(平均)

主たる事務所または他営業所の皆様のご回答事項

単車、牽引車、被牽引車の回答要領の内容は同じです

○新車で、車検整備費用、定期点検・一般修理費用がまだ発生していない場合でも未回答としないでください。想定される年間概算額をご回答ください。

○支出時期により、把握が難しい場合、概算額、平均額をご回答ください。

○荷役関連の消耗品を必要としない場合、未回答としてください。
○荷役作業時の昇降設備、保護帽（ヘルメット）については、新品調達の額をご回答ください。
○運転者1人当たり、1年間における作業安全のための作業服、安全靴、クリーニング費用、管理費用等の合計額をご記入ください。

○この車両の収入額は、高速道路利用料金等の実費を除外した額をご回答ください。作業料、待機時間料を含めた1日当たりの実質的な収入額をご記入ください。

○平均積載率は、重量、容積等の基準の指定はありません。設定されている運賃体系を考慮したうえでご回答ください。
○総走行距離とは、実際の走行距離。
○実車距離とは、貨物を輸送した距離。
○実働日数とは、車両が稼働した日数。
○実働時間は、1日当たりの運転者の拘束時間に近い数字となります。

○1運行当たりの輸送距離は、貨物を輸送した往路の実車距離のみとします。運賃単価ごとの実車距離としてください。

○車両を洗浄する場合、従業員がそれに要する時間をご回答ください。

54 【年間】この車両の車検整備費用、定期点検・一般修理費等をご記入ください。

※新車で、車検が到来していない場合、または修理していない場合は、概算費用を記入。リース契約に含まれている場合は、記入は不要。

車検整備費用 (検査手数料含む) (同車格の平均車検整備費)		円/年(税込・平均)
定期点検・一般修理費用 (同車格の平均点検・修理費用)		円/年(税込・平均)

55 【年間】この車両に必要な荷役関連の経費(税込・平均)について、ご記入ください。

※新品調達(購入)の費用をご回答ください。

【年間】荷役関連の消耗品(養生材/緩衝材/作業用資材/ロープ/シート等)の費用		円/年(税込)
【1台】荷役作業時の昇降設備(新品調達)の費用		円/台(税込)
【1個】保護帽(ヘルメット)(新品調達)の費用		円/個(税込)
【年間】作業安全のための作業服・安全靴等の支給物品の費用		円/人(税込)

56 【月間】この車両における収入額(運賃+作業料金、待機料金等)、高速道路料金等の各種料金をご記入ください。

※運賃に高速道路料金等の各種料金が含まれている場合には、分けた概算を記載してください。

【月間】収入額(運賃に作業料金、待機料金等を含める)		万円/月(税込)
【月間】高速道路利用料金		万円/月(税込)
【月間】フェリー利用料金		万円/月(税込)
【月間】中継輸送実施に伴う施設使用料		万円/月(税込)
【月間】その他料金		万円/月(税込)

57 【月間】この車両の積載率、総走行距離等について、ご記入ください。

【月間】平均積載率		%/月
【月間】平均総走行距離		km/月
【月間】平均実車距離		km/月
【月間】平均実働日数		日/月
【月間】平均輸送トン数		トン/月
【1日】平均実働時間		時間/日

58 この車両の【1運行】当たりの平均的な輸送距離(片道)、ラウンド回数(輸送回数)をご記入ください。

【1運行】の平均輸送距離	約		km(片道のみで、復路は含まない)
【1日】当たりの平均ラウンド回数(輸送回数)	約		回/日

59 【月間】この車両を洗浄するための所要時間、費用をご記入ください。

車両洗浄の所要時間 (自社従業員が関与する時間)	月間 1台当たり平均所要時間		時間/月
車両洗浄の費用 (洗剤、消耗品等)	月間 1台当たり平均費用		円/月(税込)

60 【年間】この車両が特殊車両通行許可を得ている場合、平均の申請手数料等をご記入ください。

特殊車両通行許可申請平均費用		円/年(税込)
----------------	--	---------

主たる事務所または他営業所の皆様のご回答事項

単車、牽引車、被牽引車の回答要領の内容は同じです

【重要なポイント】

- 取引先都合により拘束される時間を含めてご回答ください。
- 連続運転時間に関連する休憩時間等を含めてご回答ください。
- 休憩期間は含めないでください。
- 運転者都合の調整時間（取引先都合でない時間）は含めないでください。
（例）指定時間より早く到着し、休憩時間を確保した場合の当該時間を含めません。

○年間を通して、特定の「輸送品」がない場合、最も多い輸送品をご回答ください。
各運行で時間も距離も相違しますが、最も回数が多く、代表的な運行を選択して、ご回答ください。

○原則「1箇所積み、1箇所卸し」を前提に回答
・回答パターンは原則「1箇所積み、1箇所卸し」をご回答ください。

○「1箇所積み、1箇所卸し」の運行がない場合
・未回答（空欄）としてください。

○該当しない時間、距離については、未回答としてください。

○左の調査票は、距離制運賃の基準運賃表のモデルを前提に作成されているため、**前日積付け（宵積み）**の運行の回答は記載対象外です。
→「1箇所積み、1箇所卸し」を前提にご回答ください。
＜前提とする運行＞
車庫 → 積込場所 → 運行 → 目的地 → 車庫

61 この車両の主な運行に係る所要時間、距離等の平均値をご記入ください。
※1日に複数回実施する場合でも、1回あたりの輸送についてご記入ください。
以下の運行パターンに合わない運行の場合、ご回答可能な箇所のみご記入ください。もしくは未記載でも可。

主な運行に係る所要時間、距離等		記入例	平均的な所要時間、距離等	
運転者が出社	輸送品目は何ですか？	食品 飲料		
↓ 乗務前点呼・整備点検等	出社から運行開始までの所要時間（平均） ・作業服着替え、乗務前点呼 ・乗務前整備点検、運行指示 ・朝礼、安全確認、指導等の所要時間	15分		分
車両乗務、運行開始（車庫を出発）				
↓ 指定場所へ移動時間 と距離	車庫等から指定場所までの所要時間（平均）	15分		分
	車庫等から指定場所までの走行距離（平均）	5km		km
積込場所に到着				
待機時間	待機時間（平均） （受付時間、伝票の受け渡し時間等）	30分		
附帯作業時間	附帯作業の所要時間（平均）	30分		分
積込作業の所要時間	積込作業の所要時間（平均） ・運転者による準備作業時間を含む ・運転者が実施しない場合でも記入	30分		分
誰が積込作業を実施しますか	①運転者 ②荷主・倉庫業者等 ③その他 右の枠内に、番号を記入してください	→	番号	
積付（養生・固縛等） 作業時間	積込作業後の積付（養生・固縛）作業時間（平均）	20分		分
積込場所を出発				
↓ 出発地→到着地 運行の時間・距離	出発地から到着地までの所要時間（平均） （連続運転時間の休憩時間等を含む/休憩期間を含まない）	55分	時間	分
	出発地から到着地までの走行距離（平均）	40km		km
目的地に到着				
待機時間	待機時間（平均） （受付時間、伝票の受け渡し時間等）	30分		分
取卸作業の所要時間	取卸作業の所要時間（平均） ・運転者による準備作業時間を含む ・運転者が実施しない場合でも記入	50分		分
誰が取卸作業を実施しますか	①運転者 ②荷主・倉庫業者等 ③その他 右の枠内に、番号を記入してください	→	番号	
附帯作業時間	附帯作業の所要時間（平均）	15分		分
目的地を出発				
↓ 車庫へ移動時間と距離	目的地から車庫までの所要時間（平均）	15分		分
	目的地から車庫までの走行距離（平均）	5km		km
営業所の車庫に到着				
↓ 乗務後点呼・整備点検等	帰庫から退社までの所要時間（平均） ・乗務後点呼、乗務後整備点検、指導等 ・安全指導、作業服着替え等の所要時間	15分		分
運転者が退社				